

正誤表
『データに基づく日本語のモダリティ研究』
第11章: 脳科学から見たモダリティ
—コーパスと事象関連電位計測から見た
証拠性とモダリティの意味差—

原 由理枝

201 ページ ; 13 行目

誤

なお、 w' が w'' よりランクが高いのは、 $g(w)$ に含まれる命題のうち w'' が真にするものすべてが、 w' によって真になるときである。

$$(3) \quad w' \leq_{g(w)} w'' \text{ iff } \{p \in g(w) | w'' \in p\} \subseteq \{p \in g(w) | w' \in p\}$$

この $g(w)$ をもちいて、Portner (2009: 67) に倣い、「最高ランクの世界の集合」である $\text{BEST}(f(w), g(w))$ を (4) のように定義する。なお、 $f(w)$ に含まれる命題を真にする世界のうち、 $g(w)$ によるランク付けで最高とされた世界の集合を $\text{BEST}(f(w), g(w))$ とする。

$$(4) \quad \text{BEST}(f(w), g(w)) := \{v | v \in f(w) \text{ and there is no } v' \in f(w) \text{ such that } v' \leq_{g(w)} v\}$$

正

なお、 w' が w'' よりランクが高いのは、 $g(w)$ に含まれる命題のうち w'' が真にするものすべてが、 w' によって真にされる一方、 w' によって真にされるが w'' によって真にされない命題があるときである。

$$(3) \quad w' <_{g(w)} w'' \text{ iff } \{p \in g(w) | w'' \in p\} \subsetneq \{p \in g(w) | w' \in p\}$$

この $g(w)$ をもちいて、Portner (2009: 67) に倣い、「最高ランクの世界の集合」である $\text{BEST}(f(w), g(w))$ を (4) のように定義する。なお、 $f(w)$ に含まれる命題を真にする世界のうち、 $g(w)$ によるランク付けで最高とされた世界の集合を $\text{BEST}(f(w), g(w))$ とする（ただし、Portner (2009: 67) では、 $\text{BEST}(f(w), g(w))$ を、 $<_{g(w)}$ ではなく、 $\leq_{g(w)}$ で定義しているが、これはタイポだと思われる。なぜなら、 $v \leq_{g(w)} v$ は常に成り立つので and 以下が偽となり、 $\text{BEST}(f(w), g(w))$ が空集合になってしまうからである）。

$$(4) \quad \text{BEST}(f(w), g(w)) := \{v | v \in f(w) \text{ and there is no } v' \in f(w) \text{ such that } v' <_{g(w)} v\}$$